



STEP BY STEP

元日には能登半島地震、そして翌日には羽田空港で日航機と海保機の接触事故。「おめでとうございます」と言えない年明けでしたが、本年もよろしくお祈りします。

暮に東京地裁で勝訴した大川原化工機国賠ですが、期限ぎりぎりの1月10日、午後4時台になって国と東京都が控訴しました。おそらく準備していたのでしょう。大川原化工機側も5時台に付帯控訴しました。そもそも地裁で捜査に加わった公安の警部補が「まあ（事件は）捏造ですね」と証言しました。普通なら反省と謝罪の表明でしょう。大川原社長は「国や都が謝罪してくれれば控訴しなかった」と話しています。

警察・検察もさることながら、裁判所の責任も大きいです。拘留中に体調不良から癌が見つかった相嶋さんは、8回も保釈請求をしながら「証拠隠滅のおそれ」を理由に認められませんでした。初期段階で保釈が認められて高度な医療を受けていれば、これほど早く亡くなることはなかったのです。検察の拘留延長を認めるのも裁判所です。高裁判決では保釈を認めなかった裁判官も裁かれることを期待します。国と都が負ければ訴訟費用も賠償金も税金で支払われます。そして無実の人を痛めつけることにも税金が使われているのです。私たちはもっともっと怒るべきです。

袴田事件は年度内の予定が伸びて、5月22日に結審、判決は夏以降と言われています。傍聴した人の感想を聞くと、検察は恥かしげもなく袴田さんの有罪を延々と説いているようで、そんなものを毎回聞かされても凜としてひで子さんを「すごい精神力！」と讃えていました。検察の無駄な抵抗のせいで伸びていますが、無罪判決は確実です。「ああ、よかったね」で済ませてはいけません。問題は中身です。検察のねつ造を認め、今度こそこの大きすぎる犠牲を、冤罪を生まない仕組みの構築に活かすよう、働きかけなければと思います。（事務局/野島美香）

おかえりなさい

青木恵子

2023年12月14日、「大仙市事件」の畠山博さんが元気いっぱいの姿で満期出所されました。山形刑務所の駐車場と会場で、畠山さんに「おめでとう。よかったね」と声を掛けて花束を渡すと「ありがとうございます」と笑顔で答えてくれて、ケーキも一口食べてくれました。

みなさんからお祝いの言葉、私も「獄中とは違って社会は厳しい。色々困ることもあるけど、みなさんに助けてもらって、冤罪犠牲者の会も相談にのります。今度は、再審無罪の時にお祝いできたら良いと思います」と話しました。

畠山さんからは、お礼の言葉に続き、桜井さんからもらった「とにかく悲しんだりしないで辛いときも今まで通り、一日一日を前向きに明るく過ごせば、社会に出てから役に立つ」という言葉を支えに頑張ってきたと、しっかり話されていましたので安心しました。

冤罪が晴れてなくても、仲間が社会に帰って来たことが嬉しいです。

畠山さんを出迎えるに行き、幸せな瞬間に立ち会えて感激でした。（青木恵子）

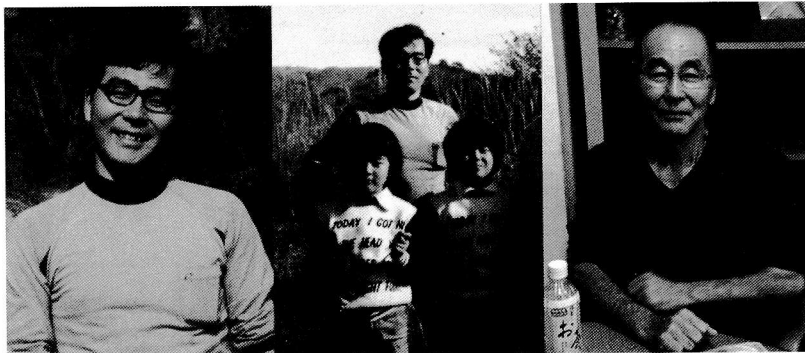


（上）山形刑務所の駐車場で出迎えた青木恵子さん（写真左）から花束を受け取る畠山博さん（写真中央）

（右）支援者に囲まれて穏やかな表情の畠山博さん（前列左から2人目）



『遺体は誰？ 折山事件』をご存知ですか？ なつし聡



バリバリ働いていたころの折山さんと事件後、一度も会っていない息子さんたち。そして現在の折山さん。

12月2日、東京は神田淡路町で表題のイベントを行いました。たくさんの方にお集まりいただき、折山敏夫さんの無実を確信していただくことができました。

折山さんは日航機が御巢鷹山に墜落した1985年のある日、知人の共同経営者Sさんを博多で殺害し、山中に埋めたという容疑で起訴され、仕事も家族も失い、23年もの獄中生活を余儀なくされます。し

かし、折山さんは逮捕されてもしばらくの間、何が何だか分かりませんでした。何故、逮捕されたのか、何故、取り調べを受けているのか。どうやらSさんを殺したことになるらしい。徐々に騒ぎの実態が分かってきます。しかし無実の折山さんと犯行を結びつける証拠は皆無です。そしてあろうことか、どうしても折山さんを犯人に仕立て上げたかった検察官の「折山は私の前で泣きながら犯行を自供したんです」という証言が裁判で証拠として採用されてしまいました。日本の裁判で伝聞が証拠として採用された、極めて珍しい、(日本の裁判史上)唯一の判例です。

さらに驚くべきことがあります。警察・検察が主張する「折山さんがSを殺害したとする犯行日」の後にもSさんは生きていた証拠が多数出てきたのです。つまり犯罪行為そのものがなかった可能性があるのです。犯罪行為がなかったのに23年もの獄中生活。こんなことが許されて良いはずがありません。表題のイベントで弁護団が分かりやすく事件を解説してくれています。是非、YouTube動画をご視聴ください。(なつし聡)



冤罪・今市事件 高瀬有史

初めまして。私は今市事件の勝又拓哉の弟、高瀬有史(ともふみ)です。今市事件についてご存知でない方もおられるかもしれませんので、簡単に事件の概要を説明させていただきます。

2005年12月1日、栃木県今市市で小学1年生の女兒が下校途中に誘拐され、翌12月2日には40km離れた茨城県常陸大宮市の山林で女兒の遺体が見つかりました。これが今市事件と呼ばれる女兒誘拐・殺人遺棄事件です。北関東では女兒が事件に巻き込まれ、解決できない事件が相次いでおり、今市事件も他の事件と同様に迷宮入りすると言われていました。しかし、事件発生から約8年後の2014年1月、兄が今市事件の容疑者として、別件で逮捕(商標法違反)されました。別件逮捕後、商標法違反の勾留を利用し、兄に対する殺人容疑についての取り調べが始まりました。

私と兄は父が異なる兄弟で、兄の父は台湾人で、兄自身も台湾出身です。兄は、幼少期から家庭環境に恵まれず、日本にきて言葉の問題からいじめに遭って育ちました。兄は日本の中卒程度の日本語能力と法的知識しか持っていませんでした。そのような兄に対して、別件逮捕から123日間にわたる身柄拘束で兄の人格を屈服させウソの自白を引き出し、不公正な裁判により有罪・無期懲役が言い渡されました。

一審では自白の任意性を巡って流された自白映像を使って違法な事実認定が行われました。一審終了後、裁判員の代表は状況証拠だけでは兄が有罪と確信できなかったが、映像を見て確信に至った旨を述べました。しかし、二審では映像から事実認定したことを違法と判断し、一審判決を破棄。兄の自白の客観的整合性が問われ、検証した結果、殺害日時・方法が兄の自白通りでは不可能であることが証明されました。

日本は三審制の国であり、本来であれば二審は一審の内容に問題がないか確認する役割を果たすべきでしたが、二審で殺害日時・場所を拡大したにもかかわらず、一審に差し戻すこともせず自判し、最高裁では「裁判内容に問題はなかった」と異常な判決が下されました。

兄は無実であり、警察と検察の主張は裁判で崩れました。しかし、裁判所は兄を有罪にするために法の抜け穴を悪用しました。

このような異常な裁判が行われ、真実が明らかにされないことに対して憤りを感じています。兄を助けるために、皆さまの力をお借りできればと心よりお願い申し上げます。どうかご支援をお願いいたします。(高瀬有史)

※勝又拓哉さんを守る会 旧URL <https://今市事件.com/>
新URL <https://k86.site/> →→→→

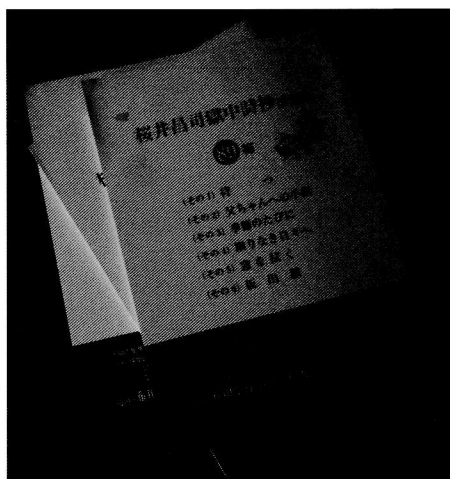
※冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花~ほんとに何もやってません』では高瀬有史さんへのインタビューを2週に渡って放送しました。ポッドキャスト(過去放送分のアーカイブ)は下記で聴くことができます。是非、お聴きください。<http://enzaibusters.seesaa.net/>
※3月9日(土)&10日(日)は現地調査を予定しています。



■冤罪犠牲者の会 交流会 in 関西

これまで東京でしか交流会を開催できませんでした。冤罪当事者同士が意見交換したり支援者と冤罪当事者が繋がったり、会員同士の連帯の輪を作る場をなかなか用意することができませんでした。2023年11月は初の関西での交流会を甲南大学キャンパスの一角をお借りして、開催しました。冤罪当事者が同じ立場の仲間に見える貴重な機会だと痛感しました。次回は東京で開催したい考えです。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

今月もオススメ ■ 『桜井昌司獄中詩抄』復刻版



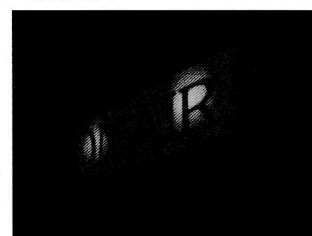
桜井昌司さんが獄中でしたための詩を収めた『壁のうた』は残念ながら在庫切れとなっていました。しかし、この詩集を読みたい! という方が後を絶たず。そこで、89編を選んだ『桜井昌司獄中詩抄』復刻版が発売されました!

気になるお値段ですが、1冊のみの発送はしていませんが、1冊なら送料込み1000円。2~9冊の場合は1冊700円(発送費込)。10冊以上ご注文の場合は、1冊500円プラス発送費1000円です。

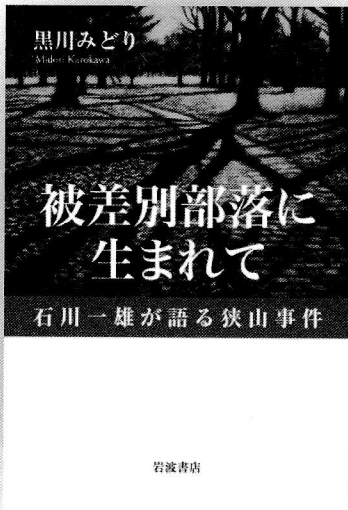
お申し込み方法はメールの場合は、info@enzai.orgまで。お電話の場合は、090-6474-4705(中澤)へ宜しくお願い致します。

■冤罪ラジオ番組「塀の中の白い花~ほんとに何もやってません」は地道に放送中!

この番組でも何度か取り上げた鈴鹿殺人事件。国民救援会中央本部の支援を受けることが決定しました。殺人犯とされた加藤映次さんが被害者を殺害したとされる時刻よりも後に、被害者のスマホに届いたメールが既読になったり、LINEアプリがダウンロードされているのです。詳しくは番組で→ <http://enzaibusters.seesaa.net/>



■ 今月の超オススメ！ ■



新刊『被差別部落に生まれて —石川一雄が語る狭山事件—』
黒川みどり著

岩波書店 定価2,750円

狭山事件本は数多くありますが、冤罪犠牲者の石川一雄さんが主体となる初の書籍です。

＜内容＞戦後を代表する冤罪事件「狭山事件」。被差別部落に生まれた、ただそれだけの理由で石川一雄は殺人犯として逮捕された。貧困ゆえの無学に苦しんだ生い立ち、30年に及ぶ獄中生活と部落問題への眼ざめ、仮釈放後も続く無罪を勝ち取るための闘い——その半生を辿りながら、部落差別が冤罪を生み出したことを明らかにする。

＜海渡雄一弁護士の推薦文＞黒川みどり氏による本書を読みました。素晴らしい本です。私は狭山事件については、ある程度

知っているつもりでした。万年筆問題や脅迫文の筆跡鑑定など数々の捜査の不可解な点があることも聞き知っていました。しかし、この本を読んで、実は何も知らなかったに等しいと思いました。なにより、石川さんが、どのようにして文字を獲得し、社会的な意識を深めて語ることができるようになっていったのかを知ることができました。

■■ 冤罪犠牲者の会は当会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！ ■■

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが2019年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、240名を超えました。冤罪に巻き込まれてしまい、闘っている人、再審を目指している人、無罪を勝ち取った人が約50名、獄中で無実を叫んでいる人が約25名、近親者・支援者が約165名で構成されています。冤罪撲滅に力を貸してくださる方を募集中です。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

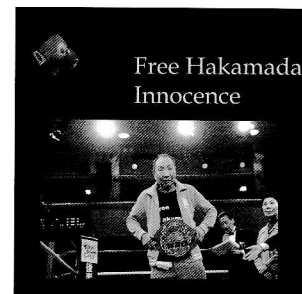
◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支店 ○一八店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイセイセイヤノカイ



■ CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

◎PayPalでの振り込みは当会ホームページの「当会について」から「入会のお申込み」ページにある会費支払方法をご参照ください。

◎冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおりません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。お急ぎの場合は080-5182-3911（冤罪犠牲者事務局長：なつし聡）へお電話ください。個人の電話番号ですので、この点はご了承ください。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail : info@enzai.org

発行責任者 なつし聡